

令和 6 年 度

事業計画書



社会福祉法人 聖風会

社会福祉法人の定義

社会福祉法人聖風会は、社会福祉法人とは、以下のような存在でなければならないと考えています。

- 一、社会福祉法人は、質の高いサービスの提供と、その担い手である人材の育成を行い続けなければならない。
- 一、社会福祉法人は、事業継続のために必要な収益を確保しながらも、非営利の姿勢を貫かなければならない。
- 一、社会福祉法人は、地域の中の存在として、常に地域との連携を図り、地域住民の生活を支援しなければならない。
- 一、社会福祉法人は、制度の有無にかかわらず、すべての社会的弱者を積極的に受け入れ、手を差しのべ、社会に安心を提供しなければならない。

法 人 理 念

最高に価値あるものをすべての人に
～地域に信頼される施設を目指して～

経 営 理 念

< 私たちが目標とすること >

- ☆地域に貢献する総合福祉事業の展開
- ☆卓越したケアサービスによる顧客満足
- ☆効果・効率を考えた弛まぬ業務改善

運 営 理 念

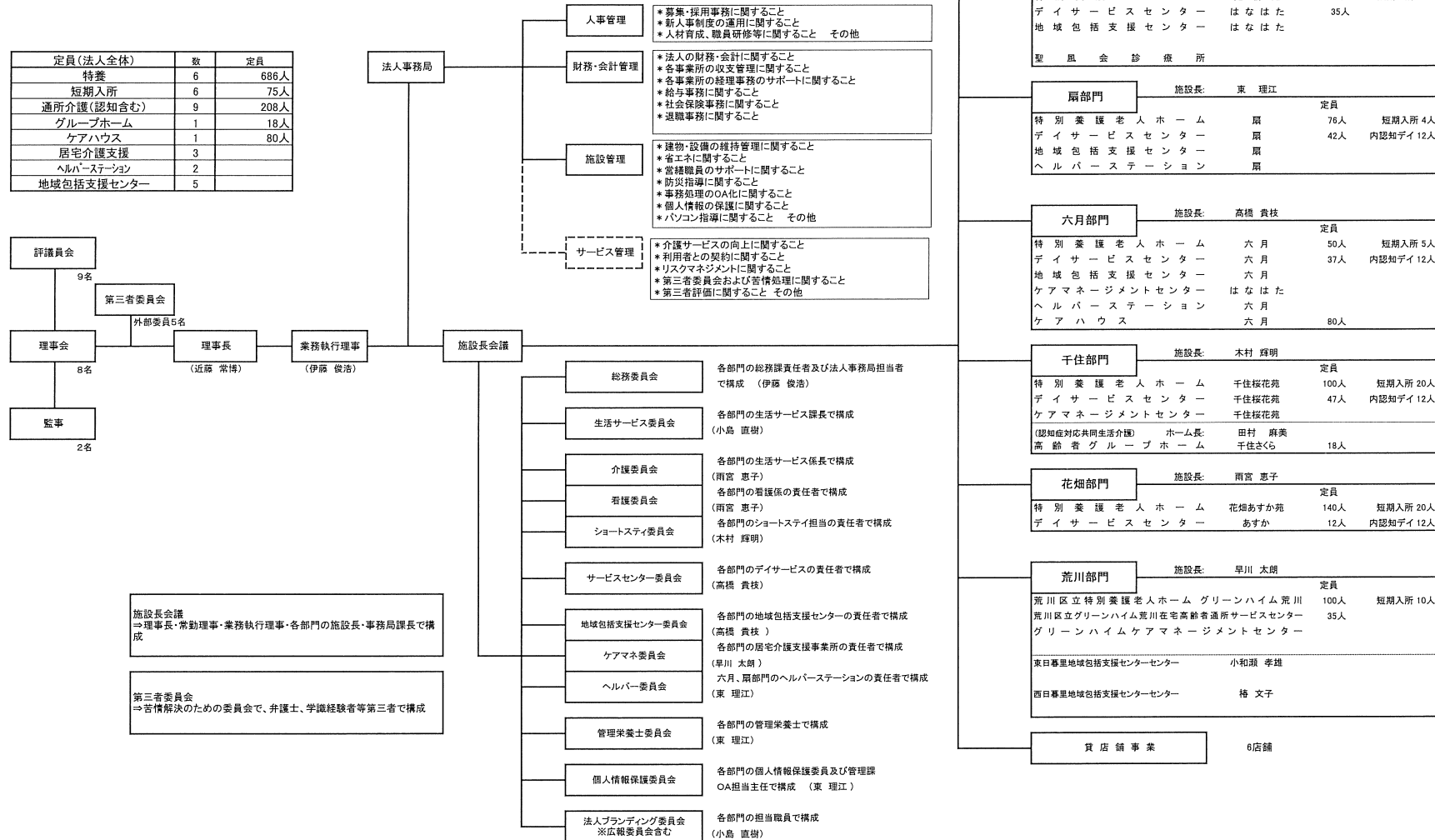
< 私たちが大切にしていること >

- ☆相手の立場で見る・聴く・考える
- ☆相手の笑顔・自分の笑顔
- ☆その人がその人らしく生きること

目 次

社会福祉法人聖風会	・ ・ ・ ・ ・	1
足 立 部 門	・ ・ ・ ・ ・	1 9
扇 部 門	・ ・ ・ ・ ・	2 5
六 月 部 門	・ ・ ・ ・ ・	3 3
千 住 部 門	・ ・ ・ ・ ・	4 3
花 畑 部 門	・ ・ ・ ・ ・	5 1
荒 川 部 門	・ ・ ・ ・ ・	5 8
荒川部門単独事業所	・ ・ ・ ・ ・	6 4

社会福祉法人 聖風会 組織図



※全ての横断委員会には必要に応じ理事長、理事が参加。

【本部事務局】

《人事 財務 会計管理》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	介護福祉士措置期間での支援留学生の確保。(令和9年3月卒迄)と日本人介護職員の確保。	・複数のスキームを活用し、支援留学生を10名確保する。 ・大学への学校訪問を実施と、実習生との意識的な関係性作り。		
②	中長期計画かつ法人繰入金の確保を含めた事業所運営の確認を定期的に行う。	・7月・11月に事業所総務担当者と財務状況の確認会議を実施。 ・会計事務所と連携した定期的な巡回を行い、日々の会計処理が適切に行われているか確認する。		
③	人事管理、サービス管理体制について、組織の見直しを行う。	・サービス管理や人事管理について、法人全体の組織として再編を検討。下期より新たな運用を行う。		

《部門特記事項》

- ・法人本部事務局体制の再構築（各事業所の総務体制含む）
- ・グリーンハイム荒川の大規模改修工事の開始

《施設 サービス 管理》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	事業所総合防災力の強化と介護保険法改正の対応	・的確に水害避難が行えるよう、タイムラインを構築する。また、計画未策定減算にならないよう、BCP の見直しを行う。		
②	情報セキュリティポリシーの策定	・情報漏洩やサイバー攻撃から組織を守れるよう、情報セキュリティの根幹となるポリシーの策定を確立する。		
③	ICT、IoT の推進	・インターネットと基幹業務ネットワークの分離や、通信環境向上のため館内 wifi 環境整備を進める。		
④	計画的な建物の予防保全	・ライフサイクルコストを加味し、対応年数を考慮した予防保全を計画的に行う。		

令和6年度

《年間予算表》 法人本部

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
他の社会福祉事業(法人本部)			88,876,000			0.0%				0.0%	*****		0
収入合計(1)			88,876,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
人件費支出			16,447,000			0.0%				0.0%	*****		0
事業費支出			74,000			0.0%				0.0%	*****		0
事務費支出			35,249,000			0.0%				0.0%	*****		0
利用者負担軽減額			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
支払利息支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
その他の支出			204,000			0.0%				0.0%	*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
固定資産取得支出			0			*****	0			*****	*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			288,000			0.0%				0.0%	*****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
長期貸付金支出			12,400,000			0.0%				0.0%	*****		0
積立資産支出			9,722,000			0.0%				0.0%	*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
拠点区分間繰入金支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
その他の活動による支出			1,066,000		0	0.0%	0	0		0.0%	*****		0
支出合計(2)			75,450,000		0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
支出差額(1)-(2)			13,426,000		0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
前期末支払資金残高			208,319,464										
当期末支払資金残高			221,745,464										

《特記事項》

※

※

令和6年度

《年間予算表》 貸店舗

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上 期 執行額	上 期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
貸店舗		店舗6	15,958,000			0.0%				0.0%	* * * * *		0
収入合計(1)			15,958,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	* * * * *	0	0
人件費支出			3,500,000			0.0%		0		0.0%	* * * * *		0
事業費支出			0			* * * * *	0			* * * * *	* * * * *		0
事務費支出			1,489,000			0.0%				0.0%	* * * * *		0
利用者負担軽減額			0		0	* * * * *	0	0		* * * * *	* * * * *		0
支払利息支出			0		0	* * * * *	0	0		* * * * *	* * * * *		0
その他の支出			1,110,000		0	0.0%	0	0		0.0%	* * * * *		0
設備資金借入金元金償還金支払			0		0	* * * * *	0	0		* * * * *	* * * * *		0
固定資産取得支出			0		0	* * * * *	0	0		* * * * *	* * * * *		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			45,000			0.0%				0.0%	* * * * *		0
その他の施設整備等による支出			0		0	* * * * *	0	0		* * * * *	* * * * *		0
長期貸付金支出			0		0	* * * * *	0	0		* * * * *	* * * * *		0
積立資産支出			0		0	* * * * *	0	0		* * * * *	* * * * *		0
事業区分間長期借入金返済支出			0		0	* * * * *	0	0		* * * * *	* * * * *		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0		0	* * * * *	0	0		* * * * *	* * * * *		0
事業区分間繰入金支出			9,500,000			0.0%				0.0%	* * * * *		0
拠点区分間繰入金支出			0		0	* * * * *	0	0		* * * * *	* * * * *		0
その他の活動による支出			0		0	* * * * *	0	0		* * * * *	* * * * *		0
支出合計(2)			15,644,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	* * * * *	0	0
支出差額(1)-(2)			314,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	* * * * *	0	0
前期末支払資金残高			2,281,389										
当期末支払資金残高			2,595,389										

《特記事項》

※

※

【令和6年 職種別を中心とする横断委員会】

情報交換の場で終わることのないよう、委員会毎の事業計画に基づいた運営を行う。

	名 称	責任者	開催日	時 間
1	総務委員会	伊藤俊浩	第4金曜日／月	15:30～18:00
2	生活サービス委員会	小島直樹	第2火曜日／毎月	15:00～18:00
2-1	・介護委員会	雨宮恵子	第2水曜日／奇数月	16:00～18:00
2-2	・看護委員会	雨宮恵子	第3月曜日／年4回（5月/8月/11月/2月開催）	16:00～18:00
2-3	・ショートステイ委員会	木村輝明	第4月曜日／年2回（4月/10月開催）	10:00～12:00
3	サービスセンター委員会	高橋貴枝	第3金曜日／月	16:00～18:00
4	地域包括支援センター委員会	高橋貴枝	第1金曜日／年4回（6月/9月/12月/3月開催）	16:00～18:00
5	ケアマネジャー委員会	早川太朗	第4金曜日／年4回（5月/8月/11月/2月開催）	16:00～18:00
6	ヘルパー委員会	東 理 江	第4月曜日／偶数月	10:00～12:00
7	管理栄養士委員会	東 理 江	第4水曜日／年4回（5月/8月/11月/2月開催）	9:30～12:00
8	個人情報保護委員会	東 理 江	第3木曜日／偶数月	16:30～18:00
9	ブランディング委員会	小島直樹	第3火曜日／月	14:00～18:00

【職種別横断委員会】

《総務委員会》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	物価高騰対策の補助金について、情報収集を行い、東京都、各保険者の補助金を漏れなく、遅延無く申請する。	・東京都、足立区、荒川区からの物価高騰補助金に関する情報収集を行い、各事業所が遅延無く申請出来るよう、情報共有と発信を行う。		
②	介護職員の処遇改善制度が一新されることから、取得可能な要件の整理と申請を行う。	・施設長会議と協力しながら、4段階の「介護職員等処遇改善加算」取得を遅延無く行う。		
③	インボイス制度の課題整理と改善を行う。	・インボイス制度について、各事業所からの質問事項を共有し会計事務所と相談をしながら改善。適切な運用を行う。		
④	職場環境の整備を処遇改善加算の職場環境等要件に合わせ各事業所で計画的に実施出来るよう進捗管理を行う。	・5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)等の実践を施設長会議と連携を図りながら行う。		

【職種別横断委員会】

《生活サービス委員会》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法令遵守、また、法人内サービスの質を管理し、支援技術の統一化、標準化を図る。	・令和6年法改正の内容を踏まえ、各種指針管理と内部監査の実施。 ・LIFE 関連加算の安定的算定とフィードバックの有効活用。		
②	福祉人材となる学生に対する学びの機会として、実習受入れを継続する。また、実習以外の方法にて養成校との連携強化を図る。	・感染防護を図りながら、実りのある実習プログラムを提供する。 ・アウトリーチ活動として、授業の講師依頼などを積極的に受ける。		
③	グローバル採用職員が不安なく着実に成長していくことが出来る様、法人本部と連携を図り支援する。	・グローバル採用職員の課題を共有し、受入方法の標準化、職員個々のレベルアップをはかる。 ・研修や交流の場を設定し、学びの機会確保、関係性を深める。		
④	人材育成の役割を担うリーダー層以上の育成力、指導力向上を図る。	・新任職員育成の重要な位置づけであるトレーナーを対象とした、また、サポート的な役割を担うリーダー以上を対象とした研修を企画。		

【職種別横断委員会】

《介護委員会》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	基礎介護の統一を図る。	・ 新任職員へ基礎介護研修の企画、運営を行う。 ・ 認知症カンファレンスシート活用の勉強会実施。		
②	職員への育成支援の徹底を図る。	・ グローバル職員へ、段階に応じた支援を生活サービス委員会と連携して行う。 ・ 人材育成の情報共有を実施する。		
③	介護現場の働きやすい環境づくりへの検討。	・ 書式や介護用品等ツールの情報共有をする。 ・ 介護手順書書（マニュアル）の点検と共有化。		

【職種別横断委員会】

《看護委員会》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	感染症予防の徹底を図る。	・ BCP（パンデミック編）に準じて、発生時及び感染拡大防止の対応を多職種と連携し、職員全体へ知識技術の研修、訓練を実施する。 ・ 指針に合わせて、「平常時の衛生管理」の確認をする。		
②	看護業務の統一化、標準化を図る。	・ マニュアルの定期確認。 ・ 情報交換による課題抽出と検討。 ・ 医療に関する研修講師及び統一した研修資料の点検を行う。		
③	②計画に対して	・ 「高齢者福祉施設における適正な医薬品の使用の介助について（通知）」を徹底して、誤薬等の事故が発生しないよう運用を統一する。		

【職種別横断委員会】

《ショートステイ委員会》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	ショートステイ 6 部門の情報を共有し、サービスの質の標準化と効率化を図る。	・感染症に配慮しながら年 2 回(4 月・10 月)委員会を開催。 ・各部門の運営状況を共有し、サービスの質の標準化及び効率化につなげる。 ・部門間の繋がりを強化し、利用者のニーズに法人として対応する。		
②	介護保険法令を順守し適切なサービス運用を維持。	・令和 6 年度介護報酬改定に則した運用への見直しを行う。 ・各部門年 1 回の特養内部監査における短期入所の項目に対応する。		
③	本体委員会である生活サービス委員会との連携を図る。	・生活サービス委員会からのオーダーに対応する。		

【職種別横断委員会】

《サービスセンター委員会》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	各事業所が目標利用率を達成できるよう事業者間での情報提供、指導助言体制を構築する。	・利用率向上計画シートは自身の事業所だけでなく、他事業所の進捗も確認し、委員会の中で意見交換を行う。		
②	令和 6 年介護保険制度改定に伴う加算要件の変更に対応した事業運営を図れるよう、委員会内での情報共有と協力体制を構築する。	・加算要件に対応した研修の実施と研修内容の共有。 ・加算の有無に関係なく機能訓練的要素を取り入れた活動の共有。		
③	相談員のスキルアップ 通所介護の相談員としての役割、業務等の内容を明確化し、適切に行う。	・自主点検表による内部監査を継続し、前回との比較や新たな課題を明確化し、委員会で共有して自事業所の状況と比較検討する。		
④	令和 5 年度に作成した利用者アンケートを各事業所で実施し、利用者のニーズに合わせたプログラムを実施する。	・アンケート結果の共有と共通課題の抽出と検討。 ・アンケート結果と対応をケアマネや家族に報告する。		

【職種別横断委員会】

《地域包括支援センター委員会》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	人材育成と定着 高齢者の総合相談窓口としてのスキルアップを図る。	・ 部門別での研修実施、継続。 ・ 介護、医療、生活等専門的な相談対応に向けた研修実施。 ・ 各部門の研修内容を共有。		
②	令和 6 年度介護保険制度改定に対応した事業運営を行う。 地域状況の把握と情報収集 関係機関との連携強化	・ 地域資源の活用とネットワークの維持、強化。 ・ 関係機関の事業内容や進捗状況を共有し助言、検討を行う。		
③	指定管理事業所として法令を遵守し、協定内容に沿った事業運営を行う。	・ 指定管理評価の項目ごとのポイントを意識して計画的に事業を進める。 ・ 定期的に達成状況と進捗を確認。		
④	後進の育成 実習生の受入れ支援	・ 社会福祉士等の実習生を積極的に受入れ、次世代専門職採用に繋げる。 ・ 社会福祉士実習指導者資格所得。		

【職種別横断委員会】

《ケアマネジャー委員会》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法令を遵守し、健全な事業運営の推進を図る。	・委員による業務点検を全事業所に対し計画的に実施する。得た情報は共有しつつ課題分析を行い、事業の質的向上を図る。		
②		・介護保険制度改正に基づき、新人研修プログラムや業務点検表等、各種マニュアル類の見直しやブラッシュアップを行う。		
③		・介護保険制度改正内容を受け、変更となる運営基準や各種加算算定要件等の情報を収集しつつ、委員会にて確認、適宜検討を行う。		
④	各事業所の主任介護支援専門員体制を維持し、安定した事業運営を図る。	・各事業所 主任介護支援専門員 2 名の体制を維持する。 管理者以外の主任介護支援専門員の業務分掌に照らし必要な業務を担ってもらいつつ、丁寧な育成に努める。		

【職種別横断委員会】

《ヘルパー委員会》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	介護報酬改定に係わる正確な理解と適正な事業運営	・改定内容の理解に努め、加算の見直し等における取得可否の確認。 ・年1回の法人内自主点検の実施。 ・訪問介護手引きの見直しと作成。		
②	感染症や災害への取り組み	・指針やマニュアルに基づいた適切な対応。 ・BCP に沿った安定した事業継続と研修及び訓練。		
③	人材不足と利用者の増加傾向・重度化に対する取り組み	・今後の介護分野の動向を把握。 ・雇用形態、多様な働き方も視野に入れて人材確保に努める。 ・自立支援、重度化防止支援。		
④				

【職種別横断委員会】

《管理栄養士委員会》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	介護報酬改定に伴う改定事項の点検・整備を行う	・介護報酬改定の動向を把握し正確に理解する。 ・重度化防止に向けた栄養アプローチの実施 ・リハビリ、口腔、栄養と様々な面からの一体的な取り組みを行う。		
②	LIFE を活用した加算算定	・各部門で連携し、入力項目やデータ送信を確実に行う。		
③				
④				

【職種別横断委員会】

《個人情報保護委員会》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	個人情報保護の内部監査の実施	・年1回、所定のチェック表を用いて全部門の情報管理の監査を実施。 ・結果報告書を作成し、法人と各部門へ提出し、美点や改善点を報告。		
②	個人情報に関する規定類の管理や適切な取り扱い	・修正変更時は施設長会議に諮る。 ・IT化による効率化が進む中、必要に応じたセキュリティ対策の実施。		
③	個人情報に関する研修	・年1回研修を実施し、情報漏えいのリスクや適切な情報管理について理解する。研修方法については委員会にて検討する。		
④				

【職種別横断委員会】

《ブランディング委員会》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法人の中長期計画に基づく人材確保について、新卒・キャリア・グローバルなどあらゆるチャンネルを駆使し、着実に進める。	・広報媒体の効果的活用。 ・施設見学の随時個別対応。 ・実習窓口職員との情報共有強化。 ・職員の出身校へのアプローチ。		
②	広報委員会と有機的な連携を図り、内外への法人の広報力を強化する。	・情報共有や広報委員としての必要な知識を取得することを目的に、定期的に研修や合同の会議等を開催する。(年 2 回)		
③	法人のブランド力強化、また、介護・福祉のイメージアップを図る為に、WEB メディアを通じ、積極的に情報を発信していく。	・広報誌「クローバースマイル」の年 1 回発行。 ・WEB メディア（原則、週 1 回更新）と法人、各部門 SNS とのリンク。		
④	採用力を高める為、法人のブランド力を強化する具体的な手段について、施設長会議に提案する。	・次世代育成プロジェクトの実施。 ・福利厚生制度の拡充。 ・内部広報の強化。		

【足立部門】

《総務課》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	本館・別館ともに老朽化による建物および設備機器の修繕対応を計画的に実施する。	・委託業者の賃金上昇、光熱水費、食材料費等の高騰を考慮し、利用率、収支状況を把握し、法人管理課の協力を得ながら進める。		
②	ハローワーク・人材紹介会社を活用し、人材を確保と職員定着を特養と連携しながら進める。	・早期に面接設定を行い、雇用機会を逃がさないように対応。また採用後の職員定着に向けフォローを行う。		
③	環境整備を実施し、利用者の生活環境の向上に加え、職員が働きやすい環境整備も目指す。	・衛生面に配慮し綺麗で過ごしやすい環境整備の為に清掃の実施や整理を強化する。		

《部門特記事項》

- ① 介護現場の生産性向上に係る環境整備 見込工事費 20,000,000 円
- ② 本館 LED 照明器具改修工事 見込工事費 35,871,000 円（うち補助金 21,000,000 円）

令和6年度

《年間予算表》足立部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	220	93.0%	1,028,932,000			0.0%					0.0%		*****		0
短期入所生活介護	16	100.0%	78,689,000			0.0%					0.0%		*****		0
通所介護	35	81.0%	105,541,000			0.0%					0.0%		*****		0
地域包括支援センター			59,153,000			0.0%					0.0%		*****		0
聖風会診療所			1,000												
収入合計(1)			1,272,316,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
人件費支出			810,197,000			0.0%					0.0%		*****		0
事業費支出			192,981,000			0.0%					0.0%		*****		0
事務費支出			149,376,000			0.0%					0.0%		*****		0
利用者負担軽減額			456,000			0.0%					0.0%		*****		0
支払利息支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
その他の支出			2,700,000			0.0%					0.0%		*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
固定資産取得支出			64,599,000			0.0%					0.0%		*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,718,000			0.0%					0.0%		*****		0
その他の施設整備等による支出			1,692,000			0.0%					0.0%		*****		0
長期貸付金支出			20,000,000	0	0	0.0%		0	0		0.0%		*****		0
積立資産支出			8,508,000			0.0%					0.0%		*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
拠点区分間繰入金支出			9,905,000		0	0.0%		0	0		0.0%		*****		0
その他の活動による支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
支出合計(2)			1,263,132,000		0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
支出差額(1)-(2)			9,184,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
前期末支払資金残高			569,098,911												
当期末支払資金残高			578,282,911												

《特記事項》

※ 聖風会診療所より千住部門へ20,000,000円貸付

※

※

【足立部門】

《特別養護老人ホーム 足立新生苑》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	職員の定着率安定と後進育成を意識した各指導者層のマネジメント力向上。	・トレーナーの育成強化。 ・育成計画の明確化と実施。 ・マネジメント力などフロア格差の是正。		
②	利用率 93%を目標とし、延べ平均空床日数 30 日/月以下、延べ平均入院日数 250 日/月以下を目指し運営の安定。	・SS 相談員業務と協働の継続。 ・平均 5 名/月 入所目標。 ・係長、ケアマネの実調業務依頼。 ・コスト意識の強化。		
③	ケアの質を高めるために職員の知識と技術の向上を図る。	・定期的な勉強会の開催や研修、委員会を利用し知識の習得。 ・計画通り研修を実施し、オンラインを活用し、参加数増を図る。		
④	更なる職員の残業削減等を目指し、心身ともに健やかに働ける環境を目指す。	・勤務表の管理、フロア格差是正。 ・希望休、有休取得の満足度向上。 ・業務負担、不安の把握と、早期に職員の面談等の対応をする。		

《特別養護老人ホーム 足立新生苑》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	摂取栄養量低下による低栄養を予防すると共に提供栄養量の栄養価アップした食事提供を目指す。 引き続き食事満足の向上を図る。	・栄養付加食品の選定、導入。 ・フロアでのおやつの盛り付け等のイベントの計画、実施。 ・食材が高騰している中でも、献立の工夫で質の維持をしていく。		
⑥	日々の健康管理を行い、その人らしい安心な生活が出来るように援助していく。	・看護職間、多職種との連携を強化し、情報を共有、異常の早期発見に努め適切な対応、判断をする。		
⑦	【短期入所生活介護】 更なるサービスの質、利用満足度の向上を目指し、平均利用率 100%を目標とする。	・個別の支援内容を計画し、それを実施していく。 ・SS 担当者が直接支援に入る事での情報収集と関係者間での共有に役立てる。		
⑧				

【足立部門】

《デイサービスセンターはなはた 一般》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営 年間平均利用率 81%、利用者登録人数 95 名を目標に事業運営の安定化を図る。	・重度者や対応困難者、総合事業利用者の柔軟な受入。 ・個別機能訓練加算を年度内に算定する。		
②	サービスの質向上 職員の専門性を高め、各活動の意義や目的を理解し、発信、提供する事で、サービスの質を向上させる。	・各会議の効率性と質の向上。 ・各活動グループで 1 回/2 月、内容を評価、効果的（身体機能維持、認知症予防）なサービスを提供する。		
③	人材育成 職員のスキルアップ、観察力、対応力、見守り力の向上を図る。	・計画的な内部研修の実施。その他外部研修への積極的参加。 ・モニタリング結果を共有し、ケアの統一化、PDCA サイクルを回す。		
④	地域貢献 地域における公益的な活動として、介護保険外の事業を継続的に実施し、地域住民の生活を支援する。	・感染症対策を講じながら来食サービスを継続する。 ・クローバー大学の開催を継続する。		

【足立部門】

《足立区地域包括支援センターはなはた》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	実態把握訪問の遂行	・11月末までに一次判定を100%終了して、年度内に不在・拒否率の改善を図るよう全員で進捗を確認しながら行う。		
②	声かけ訓練の実施	・担当者を中心に認知症サポーター養成講座の参加者から対象者を選定し、手引きやガイドラインに従い実施する。		
③	加算算定可能な事業の徹底	・介護予防教室、はじめてのフレイル予防教室、みんなで元気アップ教室を加算上限額まで取得できるよう実施する。		
④	介護報酬の改訂に伴う対応	・部門内の感染症委員会、高齢者虐待防止委員会への参加。 ・研修について地域サービス課合同の研修を実施する。		

【扇部門】

《総 務 課》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	防災対策の強化	・ R 6 年度は本部管理課の協力を得て訓練の実施頻度を増やし、意識や対応力の向上を図る。また防災用品の点検・整備を徹底する。		
②	安定した運営を目指し、他課・関係各所と情報の共有・協議を行い、利益向上に向けて実行していく。	・ 介護報酬改定の内容を正確に把握し、新設されるサービスや加算などの導入を検討する。 ・ 業務の見直しや再構築を行い、コスト削減に努める。		
③	大規模改修工事に向けた施設整備の検討と職場環境整備	・ スケジュールに沿った円滑な大規模改修基本計画の策定 ・ 職場環境の整理整頓による効率的な業務遂行。定期的な清掃や点検による清潔な環境面の保持。		

《部門特記事項》 ・ 温冷配膳車 5 台交換 7,245,000 円（足立区）

令和6年度

《年間予算表》扇部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	76	95.0%	353,631,000			0.0%					0.0%		****		0
短期入所生活介護	4	130.0%	24,492,000			0.0%					0.0%		****		0
通所介護	30	74.0%	76,430,000			0.0%					0.0%		****		0
認知症対応型通所介護	12	57.0%	32,955,000			0.0%					0.0%		****		0
訪問介護(高齢)		月平均2.6名利用	17,513,000			0.0%					0.0%		****		0
地域包括支援センター			62,293,000			0.0%					0.0%		****		0
収入合計(1)			567,314,000	0		0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
人件費支出			377,139,000			0.0%					0.0%		****		0
事業費支出			85,337,000			0.0%					0.0%		****		0
事務費支出			85,755,000			0.0%			0		0.0%		****		0
利用者負担軽減額			240,000			0.0%			0		0.0%		****		0
支払利息支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
その他の支出			1,797,000			0.0%					0.0%		****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	****		0	0		****		****		0
固定資産取得支出			600,000			0.0%		0			0.0%		****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,504,000			0.0%			0		0.0%		****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
長期貸付金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
積立資産支出			4,082,000			0.0%					0.0%		****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
拠点区分間繰入金支出			4,498,000		0	0.0%		0	0		0.0%		****		0
その他の活動による支出			0	0	0	****		0	0		****		****		0
支出合計(2)			561,952,000		0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
支出差額(1)-(2)			5,362,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		****	0	0
前期末支払資金残高			200,563,132												
当期末支払資金残高			205,925,132						0						

《特記事項》 ※ 温冷配膳車入替9,061,800円(足立区)

※

【扇部門】

《特別養護老人ホーム扇》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	特養 95%、ショートステイ 130%以上の利用率を確保し、安定した経営基盤とする。	・待機者 3 名以上を確保し、退所後 14 日以内の入所に繋げる。 ・ショートステイ新規は月 1 名以上確保、緊急ショート等空床を活用。		
②	新たな加算の算定を計画的に行う。	・科学的体制促進Ⅱ、個別機能訓練加算ⅠⅡの算定を計画的に行う。個別機能訓練については 2 ヶ月で初回プランを整える。		
③	BCP に基づいた感染症や災害への対応力強化。	・感染予防、発生時の訓練を実施。安定したサービスを継続させる。 ・災害への対策の強化、各マニュアルの見直しと研修や訓練の実施。		
④	基礎介護力の向上を図り、サービスの質を向上させる。	・職位、経験に応じた研修の実施。 ・フロア会議の運営を見直し、ケアの見直しや個々の能力向上に繋げる。		

《特別養護老人ホーム扇》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	ケアマネジメントの適切な管理。	・兼任ケアマネを中心に管理。 ・PDCA サイクルが円滑に進むよう職員の理解を深める。		
⑤	身体機能の維持が出来る限り長く続くよう特養専任の機能訓練指導員を中心にリハビリ計画に基づいた訓練を実施する。	・機能訓練指導員を中心に、多職種とも連携を図りながら、日常での効果的なリハビリを行う。		
⑦	栄養：厨房機器の入れ替え	・デモや見積もり等、管理栄養士と厨房、介護職員、総務課で連携し、厨房環境を整えていく(配膳車、ガステーブル等)		
⑧	栄養：介護報酬改定に伴う要件の整備	・栄養に関わる加算算定、減算の点検。栄養ケアマネジメントの充実に努める。		

【扇部門】

《デイサービスセンター扇 一般》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した経営基盤を目指し、平均利用率 74%(22.2 名)、総合事業・要介護の合計登録者 100 名以上を確保する。	・居宅介護支援事業所への訪問等。 ・入浴、余暇活動ニーズへの対応。 ・ワンデイ（散髪含）利用の促し。 ・心身の状態に合った適切なサービスの提供及び検討。 ・科学的介護推進体制加算の取得。		
②	自立支援や重度化防止に向けた、適切で満足度の高いケアサービスの実施。	・本人、家族の意向を踏まえ、個々の状態を的確に把握し目的に沿った支援を行う。 ・生活リハビリ、余暇時間の充実。		
③	サービスの質の向上を図る。	・センター会議等で接遇や自立支援の意識付、基礎介護等の課題検討 ・定期的な研修の実施。 ・職員間で伝え合える職場風土をつくる。		

【扇部門】

《デイサービスセンター扇 認知》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した経営基盤を目指し、平均利用率 57% (6.8 名) 以上、全体登録者 30 名を確保する。	・ 居宅介護支援事業所への訪問等。 ・ 科学的介護推進体制加算の取得。 ・ 空き状況を常に意識し、新規やワンデイ希望時は即日対応していく。		
②	在宅生活の継続性を活かし、認知症状(周辺症状)の改善に繋がる支援をしていく。	・ 在宅での日課や日常生活動作等把握し、機能や能力維持に努める。 ・ 穏やかな環境による個別支援。 ・ 併設の浴室の活用等。		
③	サービスの質の向上を目指す。	・ 認知症対応力向上の為、センター会議等で接遇や基礎介護等を学ぶ。 ・ 身体拘束等の適正化や虐待防止研修を通して正しく理解する。		
④				

【扇部門】

《ヘルパーステーション扇》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営を目指す。	・ 定期的な空き情報の提供と PR に努め、新たな顧客を獲得する。 ・ 運営基準に沿った適切なサービスの提供と利用者ニーズへの対応。		
②	ヘルパーの確保と定着を図る。	・ 採用活動の継続・適正な労働条件の確保と改善。 ・ ヘルパー会議等での意見交換や要望など働きやすい環境づくり。		
③	個々のスキルアップを図り、サービスの質の向上を目指す。	・ 法人内合同研修（年5回）、感染症、個人情報等の全体研修を予定。コロナ渦における合同研修はテキストによる個人研修に置き換える。		
④	感染症や災害発生時の対応を適切に行い事業の継続、安心・安全なサービスを提供していく。	・ 感染症・災害時マニュアル整備。 ・ BCP に沿った研修・訓練の実施。 ・ 関係事業者との情報共有・連携によるサービスの継続。		

【扇部門】

《足立区地域包括支援センター扇》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	地域包括ケアシステム構築の一環として「多世代交流」の機会を作り若年層世代との地域共生、住みやすい街づくりへの取り組み。	・若年層の協力員、協力機関を増やし第二層協議体への参加を促す。 ・若年層世代の介護予防教室等での活躍の機会を設けていく。		
②	実態把握 100%達成、不在拒否 20%未満に向けた計画的な取り組み。	・地区担当別での割振り ・毎月件数報告と実施状況の確認を行い、不在拒否等の訪問調整。 ・12月までに80%達成(9%/月)。		
③	エリア内居宅介護支援事業所に向けた「地域ケアネットワーク」を開催し、横の繋がりによる相互協力や包括との連携強化を図る。	・年3回開催を目標に、これまでのアンケート調査の要望に沿った内容で企画し、単独開催する。 ・必要に応じてブロック合同開催。		
④	新体制における円滑な業務遂行。	・センター長が代わり、円滑な業務の引継ぎや事業継続を行う。		

【六月部門】

《総 務 課》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	令和 6 年度制度改正に対応して、事業運営継続のための収支状況、執行状況の把握を行い、必要に応じて執行計画の見直しを図る。	・加算、減算要件の把握と各事業算定状況の把握。 ・月次内容を施設内の運営会議で収支状況を共有し計画の執行状況を確認する。		
②	総務課の体制（チーム）作りを行い、会計、総務の業務を滞りなく、適性に行う。	・業務引継ぎや連絡を適切に行い、事業運営や業務内容が相談し合える環境作りを行う。		
③	感染症対応をしながらの業務継続と環境整備を行う。	・工事業者等複数の外来者に対する感染予防の呼びかけを継続。 ・衛生用品等の管理、ロビーの環境整備に努める。		

《部門特記事項》

①足立区による空調設備大規模改修（令和 5 年 9 月～令和 7 年 3 月）

②館内 Wi-Fi 環境整備

令和6年度

《年間予算表》六月部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	50	95.0%	239,478,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
短期入所生活介護	5	100.0%	26,912,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
通所介護	25	80.0%	69,432,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
認知症対応型通所介護	12	62.0%	35,625,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
居宅介護支援事業			36,780,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
訪問介護(高齢)			48,494,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
訪問介護(障がい)			3,390,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
ケアハウス	80	75.0%	142,731,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
地域包括支援センター			70,330,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
収入合計(1)			673,172,000	0	0	0.0%				0	0.0%		*****	0	0
人件費支出			395,070,000			0.0%					0.0%		*****		0
事業費支出			112,936,000			0.0%					0.0%		*****		0
事務費支出			124,939,000			0.0%					0.0%		*****		0
利用者負担軽減額			540,000			0.0%					0.0%		*****		0
支払利息支出			0	0	0	*****					*****		*****		0
その他の支出			2,861,000			0.0%					0.0%		*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	0.0%					*****		*****		0
固定資産取得支出			4,594,000			0.0%					0.0%		*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,423,000			0.0%					0.0%		*****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	*****					*****		*****		0
長期貸付金支出			0	0	0	*****					*****		*****		0
積立資産支出			4,020,000			0.0%					0.0%		*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****					*****		*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****					*****		*****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	*****					*****		*****		0
拠点区分間繰入金支出			4,593,000			0.0%					0.0%		*****		0
その他の活動による支出			0	0	0	*****					*****		*****		0
支出合計(2)			651,976,000	0	0	0.0%				0	0.0%		*****	0	0
支出差額(1)-(2)			21,196,000	0	0	0.0%				0	0.0%		*****	0	0
前期末支払資金残高			209,157,828												
当期末支払資金残高			230,353,828												

《特記事項》

※

※

【六月部門】

《特別養護老人ホーム六月》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率 95%	・介護力の底上げを行い、入院日数の短縮、減少に繋げる。 ・利用者、家族の医療意向を早期に確認し病院との連携を強化する。		
②	利用者の生活の質の向上	・ボランティアや慰問の活用に積極的に取り組む。 ・個別支援計画を見直し利用者の生き甲斐ある生活に繋げる。		
③	職員間の風通しを良くして、職場環境の再構築を図る。	・業務改善課題に優先順位を付け効率的且つゆとりある職場環境にする。 ・ケアサービスの方向性を統一。		
④	感染症対応の継続ときめ細かな医療対応。	・感染症対応を引続きしっかりと実施し感染症予防を図る。 ・医療ケアの介護職への指導実施。 ・看護介護連携をきめ細かく実施。		

《特別養護老人ホーム六月》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	嚥下困難者への適切な対応、安楽な食事・栄養摂取の実施。	・適切な食形態への速やかな変更。 ・安全と見た目の良さを兼ね備えた食事の提供。		
⑥	令和 6 年度介護保険制度改定に対応した業務内容の見直し。	・LIFE のデータの 3 ヶ月に 1 度の見直しへの対応。 ・加算、減算要件の把握と業務の確認		
⑦	短期入所生活介護 目標利用率 100%	・個々の利用者に合った居室環境の整備、ニーズへの対応を実施。 ・長期利用者の積極的な受入れ。 ・行政との連携強化。		
⑧	短期入所利用者の個別支援計画、モニタリング等の見直し	・令和 5 年度第三者評価の結果を基に、個別支援計画、モニタリング等の内容を見直す。		

【六月部門】

《デイサービスセンター六月 一般》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率 80% 定員 25 名に対して、毎日 20 名以上の利用者を維持できるよう登録者数を増やし、定員 30 名を目指す。	・事業所での取組内容を具体的にケアマネにアピールする。 ・毎月のモニタリング結果報告の内容を充実させる。		
②	活動内容の見直しを行い、集客に繋げる。	・利用者懇談会での意見を活動に反映させる。 ・介護職ができる生活リハビリを職員間に習慣化する。		
③	ボランティアやコロナ禍で休止している行事、活動の再開。	・個別計画を立てた上での外出行事の実現。 ・午後の活動に少しずつ選択制を導入。		
④	令和 6 年度介護保険制度改定に合わせた事業内容の見直し。	・BCP 策定促進と研修、訓練の実施 ・入浴加算算定要件に合わせた研修の実施。 ・LIFE 活用（フィードバック活用）		

【六月部門】

《デイサービスセンター六月 認知》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率 62% 毎日の利用者が 8 名以上となるように利用登録者数を確保する。	・ 個々の利用者状況を把握し一般通所からの移行を計画的に行う。 ・ ケアマネや家族への事業 PR を具体的且つ積極的に行う。		
②	日常生活動作訓練の内容を見直し自立支援の視点を取り入れた活動を実施する。	・ 個々の利用者の機能、能力に合わせた日常生活動作（食事の準備や片付け、活動の準備、洗濯物整理等）を積極的に取り入れる。		
③	地域に向けた取組を再開する。 ボランティアの活用を再開し、休止していた活動を再開する。	・ 書道やレク、体操などの他、外出や単発の慰問等を取り入れる。 ・ 運営推進会議の集合開催。 ・ 地域に向けた事業内容の発信。		
④	令和 6 年度介護保険制度改定に対応した事業運営を行う。	・ 入浴加算算定要件である研修の実施。 ・ BCP 策定促進と職員への研修、訓練の実施。		

【六月部門】

《足立区ケアハウス六月》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	年間を通して目標利用率を 75%とする。認知機能や体力低下による退所者を増やさないよう、予防活動と支援を図っていく。	・低下進行が予測される利用者に介護保険の申請と利用を推進。 ・訪問看護、服薬支援ロボ等の医療支援を充実させる。		
②	目標利用率達成の為、新規申込者が対象外とならないよう、事業対象者の効率的な募集と対象要件の周知拡大を行う。	・年 3 回の広報での募集時期に利用相談会を実施し適切な応募に繋げる。 ・公的機関との連携を強化する。		
③	感染症予防対策に留意し、社会資源を活用した介護予防事業を推進。利用者のニーズを把握して、余暇活動を再開する。	・介護予防教室や物忘れ相談等包括との協賛事業の継続。 ・アンケートや懇談会でニーズを把握し集団行事を再構築する。		
④	経年劣化設備の交換。	・利用者居室に備え付けの電気使用量メーターが年度内期限となる為、適切に交換できるよう管理課、交換業者等と連携する。		

【六月部門】

《ケアマネージメントセンターはなはた》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	ケアプラン作成件数 35 件／1 人 安定した事業運営と地域からの要望に応じることができるよう、事業体制と新規依頼件数を維持する。	・ 特定事業加算Ⅱ維持。 ・ 職員 1 名増員、地域要請に応える。 ・ 包括支援センターへのケアプラン作成可能件数の報告。		
②	職員育成 ベテランと新人のケアマネジメントに関する基礎知識に差が生じないよう、研修機会を計画していく。	・ 個別研修計画に沿った研修受講（1 人 4 回／年） ・ 新人ケアマネマニュアルを活用して、段階的な業務評価を行う。		
③	適正な事業運営 介護保険改正内容を適切に理解し法令順守、必須業務の計画的な実施を行っていく。	・ 改正内容説明会への参加、理解促進の為の事業所内研修の実施。 ・ BCP、感染症対策、虐待防止の委員会参加と研修受講を漏れなく行う。		
④	地域との関係構築 地域住民、地域の期間との関係性を深め、信頼される事業所を目指していく。	・ 絆のあんしん協力機関として、あんしん連絡会へ参加（年 4 回） ・ 地域のお他職種連携研修、交流会への積極的参加。		

【六月部門】

《ヘルパーステーション六月》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	1 日の目標訪問件数 40 件 サービス提供責任者 1 人当りの利用者数 25 名以上（上限 50 名）とし安定した事業運営を行う。	・居宅支援事業者と連携を図り、新規利用者の安定的な確保を行う。 ・個々の利用者の援助内容を具体的に検討し支援の幅を広げる。		
②	職員の育成、援助内容の充実を図る	・集合研修、実技研修を再開。 ・認知症高齢者への対応力、理解向上。 ・虐待防止、感染症予防研修の実施		
③	令和 6 年度介護保険制度改定に合わせ事業の見直しを行う。	・特定事業所加算（Ⅳ）又は（Ⅴ）算定に向けた取組を行う。 ・「絆」の活用を視野に事務処理、業務の改善を図る。		
④	利用者、家族、地域や他職種からの情報を整理し、ニーズの把握、連携を図る。	・利用者、家族の情報を関係機関と共有して、利用者の在宅生活の維持の為の具体的な支援を迅速に行う。		

【六月部門】

《足立区地域包括支援センター六月》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	総合相談支援業務において事態把握訪問を月 140 件程度実施し、区民の方々に必要な情報を提供し、状態の確認を行う。	・訪問対象者の状態把握及び介護予防事業への勧奨を行う。 ・認知症状等が感じられる方に受審勧奨や受診支援を行う。		
②	虐待や多問題状態、消費者被害等が生じている高齢者に、尊厳のある生活を維持し生活が継続できるよう権利擁護の為の支援を行う。	・成年後見制度の価値用相談支援 ・消費者被害の防止に関する情報提供及び相談。 ・高齢者虐待通報の全件対応。		
③	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業において、介護支援専門員や医療関係者との定期的な交流機会や研修会・相談でサポートする。	・地域ケアネットワーク、地域ケア会議の開催。 ・医療介護連携事業の研修や交流会へ出席し関係作りを進める。		
④	高齢者の心身状態の維持を図る為に介護予防事業への参加勧奨や介護予防教室の定期的な開催を行う。	・パークで筋トレの紹介や「はじめてのフレイル」の参加勧奨を行う。 ・自主グループに定期的に訪問し安定的な運営へのサポートを行う。		

【千住部門】

《総 務 課》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	建物や設備の安全を維持するために、耐用年数超過、経年劣化による設備機器、備品等の交換、修繕を計画的に進める。	・設備や備品等を管理し安全な運用が維持できるよう速やかに対応。 ・法令を遵守し、緊急性が高い物を優先し修繕等の対応を進める。		
②	安定した事業運営のために、各サービスの適正人員と収益を確保する。	・毎月各サービスの運営状況を各部門と共有(利用率・収支・勤怠)。 ・適切な人員補充と人材の確保。		
③	3S(整理・整頓・清掃)に取り組み生産性向上を図る。	・事務所や倉庫の 3S 活動を実施し職場環境を整備。		
④	災害や感染症による有事に対応した事業継続ができるよう備える。	・災害及び感染症 BCP に則し訓練の実施と備品や備蓄の管理。		

《部門特記事項》

① 電動ベッド修理	見込修理費	1,000,000 円
② 加圧給水ポンプユニット交換工事	見込工事費	1,800,000 円
③ 厨房 I H調理器購入	見込購入費	551,000 円
④ エレベーター停電自動着床装置改造工事・小荷物昇降機主ロープ、インバーターユニット交換工事	見込工事費	21,430,000 円
⑤ 介護現場の生産性向上に係る環境づくり（千住さくら 3,407,000 円含む）	見込導入費	13,641,000 円

令和6年度

《年間予算表》千住部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(新型)	100	95.0%	600,954,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
短期入所生活介護	20	86.0%	104,668,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
通所介護	35	83.0%	99,302,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
認知症対応型通所介護	12	80.0%	45,650,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
居宅介護支援事業		292件	60,816,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
グループホーム	18	98.0%	99,722,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
収入合計(1)			1,011,112,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
人件費支出			661,830,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事業費支出			125,188,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事務費支出			113,717,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
利用者負担軽減額			270,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
支払利息支出			2,586,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
その他の支出			3,828,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			46,360,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
固定資産取得支出			38,222,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			1,985,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
長期貸付金支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
積立資産支出			5,027,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			6,000,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
拠点区分間繰入金支出			4,531,000			0.0%		0	0		0.0%		*****		0
その他の活動による支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
支出合計(2)			1,009,544,000		0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
支出差額(1)-(2)			1,568,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
前期末支払資金残高			177,536,291						0						
当期末支払資金残高			179,104,291						0						

《特記事項》

※

【千住部門】

《特別養護老人ホーム 千住桜花苑》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、適正収益を確保する（利用率目標 特養単体 95%）。	・記録のダブルチェックと多職種カンファレンスを実施し入院日数削減。 ・退所後の空床入所日数の短縮。 *空床待機者を常時 6 名以上確保。 *空床後の入所平均日数 7 日以内。 ・報酬改定に則し費用対効果を検証しながら加算の算定を積極的に検討。		
②	利用者の尊厳を守り、利用者や家族にとっても、安心・安全な生活環境を整える。	・不適切な対応、虐待防止の取組。 ・入居者が快適に過ごせる環境（しつらえ・整理整頓）を整える。 ・暮らしの質を確保しながらの安全な環境の確認と設定。 ・感染症の蔓延予防に努めながら、ご家族や外部と対面する機会を増やす。		

《特別養護老人ホーム 千住桜花苑》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
③	新規職員の獲得と職員が定着できる働きやすい環境を作る。	・ 3S 活動を実施し職場環境整備。 ・ キャリア別介護研修の実施。 ・ 介護帳票類の OA 化と全フロアのインカム導入。 ・ 介護支援機器(見守り・移動支援等)導入に向けてのデモ実施。 ・ 介護実習生受入の再開。		
④	栄養価を維持しながら、おいしく、安全に食べられる食事の維持・向上。	・ 利用者や職員の食事意見を確認し、質の向上につなげる。 ・ 視覚に配慮した彩りよい加工食と栄養価の工夫。 ・ 有事(災害・感染症)の食事提供に備える(委託業者と連携・備蓄・使い捨て容器等)。		
⑦	(短期入所生活介護) 安定した事業運営のため、適正収益を確保する(利用率目標 短期入所生活介護単体 86%)。	・ 毎月 4 名以上の新規利用者を獲得し登録者数 100 名以上を維持。 ・ 利用の相談等に積極的に対応し、緊急な依頼でも迅速に対応。 ・ 短期入所紹介パンフレットの見直しと居宅ケアマネへの訪問。		

【千住部門】

《デイサービスセンター千住桜花苑 一般》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、利用者 を確保し適正収益を確保する（利用 率目標 83%）。	・登録者数を 110 名以上確保（一般・ 総合事業合計）。 ・居宅ケアマネに毎月訪問（月間プ ログラム・チラシ作成）。 ・報酬改定に則し費用対効果を検 証しながら新規加算の積極的算定。		
②	通所している全利用者が安全・安 心・快適に利用できるよう環境整備 と職員の資質の向上を図る。	・感染症蔓延予防に努めながら利 用者満足が得られる活動を提供（個 別・集団）。 ・基礎介護研修実施（重度化対応）。 ・虐待防止研修実施（接遇強化）。 ・安全運転者講習実施。 ・介護保険制度理解向上研修実施。 ・3S 活動を実施し職場環境整備。		
③	社会福祉法人として地域に信頼さ れ地域ニーズに貢献する活動を実 施する。	・感染予防に努めながら、地域で活 躍するボランティアや医療福祉実 習生の受け入れを行う。		

【千住部門】

《デイサービスセンター千住桜花苑 認知》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、利用者を確保し適正収益を確保する（利用率目標 80%）。	・登録者数を 30 名以上確保。 ・居宅ケアマネに毎月訪問（月間プログラム・チラシ作成）。 ・一般デイと連携し該当利用者の認知デイへの適切なサービス移行。 ・報酬改定に則し費用対効果を検証しながら新規加算の積極的算定。		
②	通所している全利用者が安全・安心・快適に利用できるよう環境整備と職員の資質の向上を図る。	・基礎介護研修実施（重度化対応）。 ・虐待防止研修実施（接遇強化）。 ・安全運転者講習実施。 ・介護保険制度理解向上研修実施。 ・認知症に特化した活動支援。 ・認知症介護実践者研修及び管理者研修の受講（常勤）。 ・3S 活動を実施し職場環境整備。		
③	社会福祉法人として地域に信頼され地域ニーズに貢献する活動を実施する。	・感染予防を行いながら、地域で活躍するボランティアや医療福祉実習生の受け入れを行う。		

【千住部門】

《ケアマネージメントセンター千住桜花苑》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営のために、利用者数を確保し併設事業所との協働を図る。	・ケアマネ全員が目標プラン数を持つ(総数 292 件)。 ・部門内運営会議にて利用者や地域のニーズを発信し、協働して併設事業所の資質向上につなげる。 ・併設事業所への紹介者数の把握。		
②	介護保険制度に精通し法令順守とケアマネジメント資質の向上を図る。	・報酬改定の内容をチームで共有し不備なく対応。 ・プロセス確認表の運用。 ・個別研修計画の立案と実施。 ・週 1 回ケアマネ会議を実施し事例を共有してのスキルアップ。 ・他事業所との事例検討会の実施。 ・3S 活動を実施し職場環境整備。		
③	地域の高齢者ができる限り地域での生活を継続できるように、行政や各サービスとの連携を強化する。	・地域包括支援センターや介護サービス事業所と連携し、シームレスな支援を実施する。		

【千住部門】

《高齢者グループホーム千住さくら》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	・安定した事業運営のため、適正収益を確保する（利用率目標 98%）。	・入居待機者の速やかな入所。 ・入院と空床の総日数 120 日以下。 ・報酬改定に則し費用対効果を検証しながら加算の積極的算定。 ・居住費・食費の値上げの実施。		
②	入居者が安全に、安心した暮らしが継続できるように職員の資質向上を図る。	・虐待防止研修(認知症対応に特化した接遇向上)。 ・家族対応研修の実施(報・連・相)。 ・BCP(災害・感染症)に則した訓練と備品の確保(危険予測訓練含む)。 ・Wi-Fi 環境の整備と記録の OA 化。		
③	SDGs を意識した取り組みを行う。	・実習生やボランティアの受入。 ・職場体験の受け入れ。 ・近隣住民や子供達との交流。 ・地域住民のニーズに則したゴミ出し場等の敷地内の有効活用。 ・3S 活動を実施し職場環境整備。		

【花畑部門】

《総 務 課》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	部門全体の収支状況を共有し、課題整理と改善策の検討を行い、安定した事業運営に向け、財務基盤を強化する取り組みを行う。	・毎月、予算執行状況を確認。 ・加算取得状況の把握とサポート。 ・消耗品等の精査と在庫管理の見直しを実施。 ・廃棄物排出量の把握と削減。		
②	人材確保と働きやすい職場環境を整備する。	・応募者に対しての、速やかな面接設定と、雇用後も配属部署との連携を図り、サポートを強化する。 ・グローバル職員が、見やすい表示 ・5S活動の推進。		
③	災害、感染症リスクへの備え（事業継続計画）の徹底を図る。	・BCM委員会を中心にBCPの見直し、研修、訓練を実施する。 ・必要物品整備と、直ぐに稼働できるように管理を行う。		

《部門特記事項》

①介護現場の生産性向上に係る環境づくり 13,330,000 円

②エアコンクリーニング @15,400 円×50 台=770,000 円

令和6年度

《年間予算表》花畑部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	40	96.0%	199,859,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
介護老人福祉施設(新型)	100	96.0%	586,924,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
短期入所生活介護	20	75.0%	91,728,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
認知症対応型通所介護	12	72.0%	43,540,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
収入合計(1)			922,051,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
人件費支出			594,158,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事業費支出			119,194,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事務費支出			115,909,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
利用者負担軽減額			1,236,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
支払利息支出			5,421,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
その他の支出			2,787,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			54,168,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
固定資産取得支出			13,330,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,665,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
長期貸付金支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
積立資産支出			5,130,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			6,000,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
拠点区分間繰入金支出			1,865,000		0	0.0%		0	0		0.0%		*****		0
その他の活動による支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
支出合計(2)			921,863,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
支出差額(1)-(2)			188,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
前期末支払資金残高			216,059,165						0						
当期末支払資金残高			216,247,165	0					0						

《特記事項》

※ 施設整備補助金（介護テクノロジー導入支援補助金） 10,000,000円

※ 介護現場の生産性向上に係る環境づくり 13,330,000円

【花畑部門】

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(ユニット型)》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：96% 安定した事業運営を図る。	・空床発生から入居までの期間を平均10日以内で行う。 ・入居待機者2名を常時確保する。		
②	①計画に対して	・年間総入院日数1400日以内。 ・ミールラウンド(各専門職)を実施し、食事の姿勢、介助方法を協議し、実践する。		
③	①計画に対して	・基本報酬改定と新規加算を精査し、遅滞なく取得する。 ・現在取得している加算継続のための多職種連携を図る。		
④	【短期入所】 目標利用率：75% 安定した事業運営を図る。	・年5760日(月平均480日)の稼働確保。 ・営業活動の活性化。 ・入退所事務の見直し。		

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(ユニット型)》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	介護事故防止と共に職員の負担軽減を図るため、福祉用具の活用を推進する。また、働きやすい職場環境を整備する。	・福祉用具の使用状況を、特養内会議、ケア検討委員会にて評価、検証を実施。 ・担当職員を定め、5S活動の実施。		
⑥	利用者が安心して生活を送り、職員が働き甲斐を感じられるよう、人材育成とケアの質の底上げを行う。	・オンライン研修の継続活用。 ・ケア研究会の研修（主任以上・各専門職） ・認知症介護実践者研修受講。		
⑦	⑥計画に対して	・リーダー、トレーナーへの指導についての研修とフォローの実施。 ・認知症カンファレンスシートをケア検討委員会中心に実施。		
⑧	⑥計画に対して	・主任、係長が、各ユニット会議に参加し、統一したケアの実施の確認と、介護職・多職種間の調整。		

【花畑部門】

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(従来型)》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：96% 安定した事業運営を図る。	・空床発生から入居までの期間を 平均7日以内で行う。 ・入居待機者男性1名、女性1名を 常時確保する。		
②	①計画に対して	・年間総入院日数540日以内。 ・介護係長、各専門職とミールラウ ンドを実施。介助方法を協議し、実 践する。		
③	①計画に対して	・基本報酬改定と新規加算を精査 し遅滞なく取得する。 ・現在取得している加算継続のた めの多職種連携を図る。		
④	排泄ケアの継続した見直しを行う ことで、オムツ使用コストを年間 2,952,000円以内におさえると共に 尿路感染症を予防する。(入居者 一人1日200円で概ね計算)	・単価や製品特性を理解し、心身の 状態変化に合わせて見直しを図る。 ・スキンケア、感染予防、業務軽減 の視点にてウェットワイプ導入検 討を行う。		

《特別養護老人ホーム 花畑あすか苑(従来型)》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	介護事故防止と共に職員の負担軽減を図るため、福祉用具の活用を推進する。また、働きやすい職場環境を整備する。	・福祉用具の使用状況を、特養内会議、ケア検討委員会にて評価、検証を実施。 ・担当職員を定め、5S活動の実施。		
⑥	利用者が安心して生活を送り、職員が働き甲斐を感じられるよう、人材育成とケアの質の底上げを行う。	・オンライン研修の継続活用。 ・ケア研究会の研修（主任以上・各専門職） ・認知症介護実践者研修受講。		
⑦	⑥計画に対して	・リーダー、トレーナーへの指導についての研修とフォローの実施。 ・認知症カンファレンスシートをケア検討委員会中心に実施。		
⑧	⑥計画に対して	・主任、係長が、各ユニット会議に参加し、統一したケアの実施の確認と、介護職・多職種間の調整。		

【花畑部門】

《デイサービスセンターあすか 認知》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	目標利用率：72% 1日9名の来所を確保し、安定した事業運営を図る。	・毎月の活動報告に合わせて、空き状況等の案内をしていく。 ・あすか新聞をリニューアルし、デイあすかの魅力を外部に発信する。		
②	認知症対応型の専門性を深め、利用者の特性に合わせた支援を行う。	・認知症ケアの研修受講。 ・認知症カンファレンスシートを学び、ケースカンファレンスでの活用を図る。 ・認知機能チェック及びトレーニングの活用と個別評価の実施。		
③	介護事故防止と、働きやすい職場環境づくりを行う。	・5S活動の実施。 ・タブレット使用にて記録の効率化を図る。		

【荒川部門】

《総務課》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	安定した事業運営が図れるよう 収支状況の適正な把握と共有。	・スタッフ会議にて各事業の収支や予算執行状況の確認、分析を行い、必要に応じて対策検討を行う。 ・介護報酬改定に伴う加算等の変更箇所を確認し理解を深めるとともに、必要な届出を漏れなく行う。		
②	職員人材を確保しながら、定着率の安定を図る。(離職率5%)	・毎月のスタッフ会議にて超過勤務(時間数や偏り)及び有休取得状況の確認を行い、スタッフ共通認識の下、適宜対策検討を行う。		
③	経年劣化による修繕や備品の交換を計画的に行う。また、災害に対応した事業継続ができるよう備える。	・突発的な修繕は、区と協議をしながら実施する。 ・災害に備え備品や備蓄の不足が生じない様、管理と補充を行う。		

《部門特記事項》

①ベッドタイヤ交換(30台): 3,000,000円

②デイサービストイレ前床修繕: 300,000円

令和6年度

《年間予算表》荒川部門

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	上期 利用率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	年間 利用率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
介護老人福祉施設(従来型)	100	92.0%	458,962,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
短期入所生活介護	10	85.0%	41,130,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
通所介護	35	75.0%	81,808,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
居宅介護支援事業			20,464,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
収入合計(1)			602,364,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
人件費支出			415,290,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事業費支出			90,515,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事務費支出			74,801,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
利用者負担軽減額			24,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
支払利息支出			0	0	0	*****			0		*****		*****		0
その他の支出			2,450,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
固定資産取得支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			2,277,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
長期貸付金支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
積立資産支出			3,935,000			0.0%			0		0.0%		*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			1,000,000		0	0.0%		0	0		0.0%		*****		0
事業区分間繰入金支出			0	0	0	*****		0	0		*****		*****		0
拠点区分間繰入金支出			5,284,000		0	0.0%		0	0		0.0%		*****		0
その他の活動による支出			0	0	0	*****			0		*****		*****		0
支出合計(2)			595,576,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
支出差額(1)-(2)			6,788,000	0	0	0.0%		0	0	0	0.0%		*****	0	0
前期末支払資金残高			63,250,478						0						
当期末支払資金残高			70,038,478						0						

《特記事項》

※ 介護老人福祉施設収入には、3,000,000円（積立金資産取崩収入）を含む。

※ 介護老人福祉施設収入には、1,287,000円（受託事業収入）を含む。

※ 通所介護収入には、280,000円（受託事業収入）を含む。

【荒川部門】

《荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	年間延べ入院者日数を 1400 日以内とする（数値は次年度の大規模改修に向けて 4 月より入居受け入れが中止となることを踏まえて算出）。	・ 基礎介護委員会による研修とフロアでの取組みを連動させ、高齢者に多い疾患での入院を中心に分析、対策検討しつつ入院日数減を図る。		
②	利用者の QOL 向上（快適性、介助時間の削減、皮膚トラブル予防等）に向け、排泄ケアの質的向上を図る。	・ 基礎介護委員会を中心に介護職員への排泄ケア研修を行う。 ・ 製品特製や単価を踏まえたオムツ選択に努め、コスト削減を図る。		
③	介護保険制度改正に伴う追加事項や変更事項の把握に努め、漏れなく確実な運用を図る。	・ 新規に取得できる加算を見極め、速やかな算定を目指す。又、基準省令の理解を深め、必要となる研修や委員会等を計画的に進める。 ・ LIFE のフィードバック情報の効果的な活用を推進する。		
④	利用者、職員の負担軽減に資するべく福祉用具や機器を効果的に取り入れつつ、持ち上げない介護を推進する。	・ 移動補助用具や福祉機器の試行機会を持ちつつ根拠を持って導入に向ける等、生産性の向上に資する活動を進める。		

《荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
⑤	ショートステイ年間目標利用率を85%とし、地域貢献及び安定した事業運営に向けていく。	・家族や居宅介護支援事業者へより詳細な利用者の状態報告が可能となる様、フロア担当制を導入するなどの対策を講じつつ信頼関係を構築し、リピート利用に繋げる。		
⑥		・月平均2名以上の新規利用者獲得に向け、居宅介護支援事業者への働きかけに資するツールの作成を進めつつ、活用に向けていく。		

【荒川部門】

《荒川区立グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター 一般》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	区の計画により、令和 7 年 3 月末をもって事業終了となるが、利用者が最終日まで安心して過ごせる環境づくりに努める。	・ 居宅介護支援事業所の協力を得ながらサービス終了による利用者負担を最小限にする。 ・ 利用者数に応じた職員体制を確保する。		
②	①計画に対して	・ 業務内容の整理をしつつ、統一したサービス提供に努める。 ・ 在宅で生活する利用者ニーズに沿った支援を行う。 ・ 月 1 回 研修や勉強会を行い、職員の知識・認識を深める。		
③	社会の変化に合わせてながら利用者のニーズを把握し、新たな取り組みに向けていく。	・ 広報活動の継続と充実（地域への掲示や SNS による発信）。 ・ R6 年度介護報酬改定による新たな加算取得の検討。		

【荒川部門】

《グリーンハイムケアマネジメントセンター》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	法人の定める担当件数（管理者：20～24件、常勤：35件～上限範囲内程度）の獲得と特定事業所加算Ⅲの算定維持を目指す。	・新規受入れ可能時件数を常に把握し、依頼は積極的に受け入れる。 ・地域包括支援センター等の関係機関へ空き情報を提供していく。		
②	利用者の利便性のため、部門内他部署との連携を密に図る。	・利用者が希望した際には、部門内のサービス利用調整を迅速に行う。 ・部門内で連携を図り、利用者に利便性の良いサービスを提供する。		
③	区立施設の併設事業所として、地域貢献に努める。	・契約に繋がらない相談等にも、可能な限り誠実に対応していく。 ・地域のキャラバンメイト活動参加など、地域貢献活動を継続する。		

【荒川部門】

《東日暮里地域包括支援センター》

〈令和 6 年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	専門職それぞれの役割を理解しつつ業務や支援に関する情報共有を行い、チームとしての支援体制を構築していく。	・朝・夕の申し送りを確実に行う。 又、月 3 回程度行われるミーティングには原則全員が参加する。 ・都や区が実施する必要に応じた職種対象の研修を受講した場合、所内で伝達研修を行う。		
②	地域のネットワークを生かし、地域住民による活動の場やグループを継続して創出していく。	・生活支援コーディネーターを中心に、自主グループを 1 カ所以上創出。また、昨年度までに創出した活動の後方支援をし、継続できるようにする。		
③	みまもり名簿新規登録者 100 名以上を目指す。	・みまもりネットワークの構築を進め、地域との繋がりを強化する。 - みまもり・包括で情報を共有しつつ、切れ目のない利用者支援に努めていく。		

令和6年度

《年間予算表》 東包括

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
地域包括支援センター			72,254,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
収入合計(1)			72,254,000	0		0.0%		0	0	0.0%	*****	0	0
人件費支出			60,280,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業費支出			1,138,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事務費支出			9,746,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
利用者負担軽減額			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
支払利息支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
その他の支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
固定資産取得支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			299,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
長期貸付金支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
積立資産支出			600,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
事業区分間繰入金支出			191,000		0	0.0%	0	0		0.0%	*****		0
拠点区分間繰入金支出			0	0		*****	0	0		*****	*****		0
その他の活動による支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
支出合計(2)			72,254,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
支出差額(1)-(2)			0	0	0	*****	0	0	0	*****	*****	0	0
前期末支払資金残高			20,220,856										
当期末支払資金残高			20,220,856					0					

《特記事項》

※

※

【荒川部門】

《西日暮里地域包括支援センター》

〈令和6年度計画〉

	計 画	実 施 内 容	半 期 進 捗 状 況	年度末結果と今後の課題
①	地域ケアシステムの構築に寄与する取り組みを実践する。	・地域連携推進会議等を通じ、地域住民と課題についての情報共有を行いつつどのようなことができるのか検討していく。又、新たな町会長の方々との連携も深めていく。		
②	みまもり事業の推進に寄与する取り組みを実践する。	・機関誌の配布、サロン等を通じて町会や高齢者クラブとの関係作りを継続していく。		
③	生活支援体制整備事業の推進を図る。	・区と今後の方向性を検討しながら進め、包括支援センターとしての役割を行う。最低1ヶ所以上、住民主体の活動の場の立上げを支援していく。		

令和6年度

《年間予算表》 西包括

単位：円

サービス名	定員数	積算根拠	予算額	補正予算	上期 執行額	上期 執行率	前年度 上期執行額	前年度 上期対比	決算額	執行率	補正後 執行率	前年度 決算額	前年度 対 比
地域包括支援センター			70,846,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
収入合計(1)			70,846,000		0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
人件費支出			51,368,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業費支出			970,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事務費支出			16,100,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
利用者負担軽減額			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
支払利息支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
その他の支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
設備資金借入金元金償還金支払			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
固定資産取得支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
ファイナンス・リース債務の返済支出			222,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
その他の施設整備等による支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
長期貸付金支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
積立資産支出			690,000			0.0%		0		0.0%	*****		0
事業区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
拠点区分間長期借入金返済支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
事業区分間繰入金支出			106,000		0	0.0%	0	0		0.0%	*****		0
拠点区分間繰入金支出			0	0	0	*****	0	0		*****	*****		0
その他の活動による支出			0	0		*****	0	0		*****	*****		0
支出合計(2)			69,456,000	0		0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
支出差額(1)-(2)			1,390,000	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	*****	0	0
前期末支払資金残高			24,015,102					0					
当期末支払資金残高			25,405,102					0					

《特記事項》

※

※